

# 教育研究業績

学部：人間発達学部 学科： こども発達学科

領域：

氏名	木全 清博	職名	教授
教育活動	[学部] 社会科指導法、社会、教育方法論、大学生になる [活動] キャリアセンター教職分科会、教員採用対策委員（全学）		
学位	教育学士(愛知教育大学) 教育学修士（大阪教育大学）		
学歴	昭和 45 年 3 月 愛知教育大学教育学部中学校課程（社会科）卒業 昭和 46 年 3 月 愛知教育大学教育専攻科修了 昭和 48 年 3 月 大阪教育大学大学院教育学研究科（社会科教育学講座）修了		
職歴	昭和 48 年 4 月 大阪教育大学教育学部附属平野中学校教諭(昭和 52 年 3 月まで) 昭和 52 年 4 月 大阪市教育研究所所員(昭和 56 年 3 月まで) 昭和 56 年 4 月 北海道教育大学教育学部岩見沢分校 助手・講師(昭和 59 年 3 月まで) 昭和 59 年 4 月 滋賀大学教育学部 助教授・教授(平成 25 年 3 月まで) 平成 2 年 4 月 滋賀大学大学院教育学研究科 教授（平成 25 年 3 月まで） 平成 25 年 4 月 京都華頂大学現代家政学部 教授（平成 28 年 3 月まで） 平成 30 年 4 月 名古屋芸術大人間発達学部子ども発達学科 教授(現在に至る)		
専門分野	社会科教育学（歴史教育・地理教育）、日本教育史（地域教育史）、教育方法学		
研究課題	明治期から現在までの地域教育史（特に市町村教育史研究）、戦前・戦後の郷土教育・歴史教育・地理教育、社会科の教育課程論・学力論、近世の藩校・寺子屋教育から明治初期の小学校教育へ		
教育研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学力と教育課程の創造—社会科認識を育てる教育実践とその歩み—」共著 同時代社（平成 25 年 8 月）</li> <li>・「戦後日本の教育実践—戦後教育史像の再構築をめざして」(共著) 三恵社（平成 25 年 9 月）</li> <li>・「近江日野の歴史」第 4 巻近現代編（共著）(近現代教育史通史担当)（平成 26 年 3 月）</li> <li>・「東近江市史 能登川の歴史」第 3 巻近代・現代編（共著）(近現代教育史)（平成 26 年 7 月）</li> <li>・「小学校低学年合科・総合学習の国際比較と実態調査研究」(共著) 2012-14 年科学研究費補助金成果報告書（平成 27 年 3 月）</li> <li>・「滋賀の教育史」(単著) 文理閣（平成 27 年 11 月）</li> <li>・「近代滋賀の教育人物史」共著 サンライズ出版（平成 30 年 6 月）</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「近江八幡の歴史」第8巻通史Ⅲ近現代（教育史担当）共著（平成31年3月）</li> <li>・「滋賀の学校史」単著 文芸社（令和元年9月）</li> </ul> <p>[論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民学校における『郷土の観察』・『国史』の授業—中村林一訓導の昭和20年度指導案—」（1）（2）（単著）『京都華頂大学課長短期大学研究紀要』第59～60号（平成26年～27年）</li> <li>・「近江日野の学区取締正野玄三の学事日誌」（1）～（4）（単著）京都華頂大学『現代家政学研究』第4～7号（平成27年～平成30年）</li> <li>・「地域教育史研究の可能性とは何か」単著 『日本教育史往来』第224号（平成28年10月）</li> <li>・「犬上県の教育政策と小学校の設立・開校—外村省吾と山本大三の教育施策—」（単著）名古屋芸術大学教職センター紀要第7号（平成30年3月）</li> <li>・「北名古屋市（旧師勝町・旧西春町）の寺子屋研究（上）」単著 『名古屋芸術大学教職センター紀要』第8号（平成31年3月）</li> <li>・「尾張北部の旧丹羽郡の学校史（1）—岩倉市の寺子屋から小学校設立へ—」単著『名古屋芸術大学研究紀要』第40巻（平成31年3月）</li> <li>・「明治初期の長浜講習学校と3人の教師—中矢正意・小林撰蔵・梶山弛—」単著『京都華頂大学現代家政学研究』第8号（平成31年3月）</li> </ul>
所属学会 団体等	日本教育史研究会、日本社会科教育学会、全国社会科教育学会、歴史教育者協議会、滋賀県教育史研究会（代表）、滋賀県歴史教育者協議会（会長）
社会的活動	歴史教育者協議会全国委員、滋賀県民主教育研究所理事、近江八幡市史編集委員（近現代）、長浜市江北図書館文庫研究会理事
その他	特記事項なし